

## 一人ひとりが成長を実感し向上する、らしさが際立つ学校を創る

校長 井出 賀津雄

4月の春らしい日が続いています。本日、4月10日（月）入学式のこのよき日に、17名の新入生を迎えて大正小学校の新しい1年が始まりました。

4月7日、学級発表の日に、事前に学校で計画した準備をお願いする対象学年の2年生、5年生、6年生が入学式の準備に学校へ来てくれました。どの子どもも久しぶりの学校、仲間がうれしいのか、ずっと朗らかな様子で笑顔を浮かべながら、新入生を迎える準備に精を出してくれました。たまに学童や少年団の子どもと出会い、たがいに挨拶をする程度で、今まで静かでさびしかった学校が華やき活気がみなぎってきた感じがしました。子どもがいてこそこの学校ということをつくづく考えさせられました。

今年の大正小学校は、「一人ひとりが成長を実感し向上する、らしさが際立つ学校を創る」ことに重点をおき、それを目指しています。「実感し向上する」というところは、昨年から少し変わってきています。変えた理由は、成長を実感するというところだけではなく、「粘り強く耐える」「あきらめない」「くじけない」ために、自尊感情や自己肯定感、自己有用感をより多くもたせ、自信を深め、より前向きな考え方や行動を引き出し「向上する」というねらいをもって取り組んでみたいと考えたからです。

また、昨年に引き続き、「らしさが際立つ学校」にしている理由は、「大正小学校はどんな学校なのか」、「大正小学校はどんな勉強の仕方をしているのか」、「大正小学校はどんな雰囲気では暮らしているのか」など、大正小学校についての問いかけに、保護者や地域住民の方に明確に説明できる学校、子どもにも答えられる学校にしようと考えているからです。「(どの子ども) あいさつができる学校」「(どの子ども) 今日勉強したことは〇〇です。・・・と答えられる学校」「(どの子ども) 仲良くしようとする学校」「(どの子ども) 汗を流しよく働く学校」などです。学校の「らしさ」を明瞭にしていくためには、粘り強い取組や積み重ねが大切です。子どもも頑張っています。教師も頑張っています。そして、保護者や地域の方も本当によくご協力いただいています。子ども、そして大人も、モチベーションが、必要です。ほめられ、励まされるなどして、「目標をしっかりもって取り組み、結果を自覚できること」をはじめ、「結果が見えるようにすること(可視化)」「変容した様子を確認できること」などで、達成感・充実感が味わうことができます。また、プラス思考やポジティブな考え方をしていけば好循環につながることも理解されてきます。さらには、自分が生まれ育った地域(ふるさと)に誇りがもてる子どもを育てたいという願いも含まれています。

今後とも、ご家庭とは力を合わせて学力や体力の向上にも取り組んでいきたいと考えています。特に、学力向上のため、家庭学習の習慣づくりや七中エリアファミリーで取り組んでいる七中エリアの日の「ノーテレビ・ノーゲームデー」から範囲を広げ、電子メディア(インターネットやメール、長電話等)のコントロールについても取り組みたいと考えています。その取組では、3ヶ月に1回ほど、頑張っている子どもへの励ましや、様子をお知らせしていただくなど、ご協力をお願いしたいと思っています。漢字検定も昨年同様に学校で実施します。子どももそうですが、大人の方でも参加できますのでよろしくお願ひします。

また、昨年からはじめたことですが、大正小学校の教育活動や取組の様子、ぜひ知っておいていただきたいことや安心していただきたいことを一冊にまとめた「学校ナビゲーションブックなるほど!!大正小」を本日お配りしましたので、活用のほどよろしくお願ひします。

今年の授業日数は203日を予定しています。どの日もかけがえのない大切な一日となるよう努めてまいります。変わらぬご支援、ご協力のほどをよろしくお願ひいたします。

